

会長挨拶

『地方創生』から『1億総活躍社会』へ: 会員の皆様へ

日本人口学会会長 原 俊彦

今年度に入り各自治体では「地方人口ビジョン」・「地方版総合戦略」策定のための『創生委員会』が開かれ、人口減少社会をめぐる出版・シンポジウム・講演にもわかに増えた印象です。当学会でも第67回大会(相山女学園大学:愛知県名古屋市)で、前回大会の「少子化対策のパラダイム転換 ー新しい家族政策へー」に引き続き、公開シンポジウム『地域人口は消滅するのか?』を開催、人口学の専門家集団としての問題への関心を深めることができたのではと自負しております。もっとも、その後、夏の間は『安保関連法案』で国論を二分され関心が薄まった観がありました。秋の深まりとともに今度は『1億総活躍社会』という形で(来年の参議院選に向け?)、改めて問題への対応が議論されようとしております。また年末までには明らかになるはずの国勢調査結果の速報値も気になるところです。

一方、心配をお掛けしました学会運営の方は、第67回大会総会での規約改定を受け、総務委員会を中心に体制を一新し、7月1日からは事務局を(一般社団法人)学会支援機構に委託、入会手続きなどの変更も含め無事に新システムへの移行を果たしました。これを契機に会員管理、学会誌編集・発行、印刷・発送などの学会運営業務もかなり合理化しましたが、大会運営なども含め、今後もさらに見直しを進め、より効率的で安定的なものにして行こうと思っております。

総会で急遽提案し、ご承認を頂きました「人口学事典」(丸善出版)の発刊につきましては、8月4日に第1回編集委員会を開催、編集方針・章立・担当などを話し合い、9月28日の第2回で、その修正・確認を行い、現在、第3回に向け、執筆項目と執筆者の選定作業を進めております。一般、行政、企業、初学者を対象に、第一部で近年の(あるいは今後予想される)人口をめぐるトピックを取り上げわかりやすく解説し、第二部で必要とされる人口学的知識を体系的に提供することをめざしています。可能な限り多くの会員に執筆をお願いする方針です。よろしくご協力下さい。

また昨年1月Springer Japanから刊行を開始しました英書シリーズPopulation Studies of Japanの方も、現在4冊が配本、3冊が近々出版予定と順調に進行しております。こちらは投稿者が学会HPから執筆企画書をダウンロードし応募、各分野の編集委員の審査・推薦を経てSpringerの編集部へ出版提案する形です。「海外の研究者との共同研究、国際比較あるいは日本以外を対象としたもの、経済・福祉・政策などの隣接領域に重なるものなども含め、広く「日本の人口研究」を海外で紹介・発信して行くことが狙いです。皆様のご応募をお待ちしております。

◆大会企画委員会からのお知らせ

大会企画委員会 委員長 和田 光平

Linking Past to Present をテーマに、日本人口学会第68回大会が2016年6月11日(土)、12日(日)の2日間、千葉県柏市の麗澤大学において開催されます。会員の皆様はもちろん、人口にご関心のある研究者や学生の非会員の皆様にも積極的にご参加いただければ幸いです。

シンポジウムと各セッションは下記の通りです(セッション番号は、プログラム編成上、変更する可能性があります。)今回、前日プログラムはありませんが、6月11日(土)の午後に公開シンポジウム「人口政策の成り立ちを考える ～Linking Past to Present～」が、麗澤大学(廣池千九郎生誕150年記念事業)と共催されます。また、英語による企画セッションとテーマセッションもあります。テーマセッションでは報告が公募されますので、自由論題と同様に積極的にご応募ください。会員総会、懇親会は6月11日(土)の予定です。

日本人口学会 第68回大会 Linking Past to Present

シンポジウム(一般公開・麗澤大学と共催)

人口政策の成り立ちを考える～Linking Past to Present～
組織者: 加藤彰彦・黒須里美

企画セッション1(英語)

Marriage and Family Building in Historical East Asia
組織者: 黒須里美

企画セッション2

地域特性や個別環境による出生率格差を考える
組織者: 早乙女智子

企画セッション3

セクシャル・マイノリティに関する人口学的研究 ―日本における研究動向の今―
組織者: 釜野さおり

企画セッション4

未婚者の現在と将来
組織者: 水落正明

テーマセッション1(報告者公募・英語)

Marriage and Family Building in Contemporary East Asia
組織者: 鈴木 透・黒須里美

テーマセッション2(報告者公募)

持続可能な開発目標(SDGs)と人口開発問題のゆくえ
組織者: 林 玲子

◆学会賞選考委員会の活動報告

学会賞選考委員会 委員長 高橋 重郷

本委員会の任務は2016年大会で授与される第15回学会賞(日本人口学会賞、優秀論文賞、普及奨励賞、学会特別賞の各賞)受賞者の選考をおこない、その結果を理事会に報告します。第15回学会賞の各賞は、最終的に理事会の審議を経て決定することになります。

各賞の選考に先立ちまして、会員の皆様の推薦を募集します。従来は郵送で推薦書を送付して参りましたが、費用の削減により電子メールでの推薦をお願いします。推薦候補となる賞は以下の通りです。

■推薦依頼

1. 学会賞候補(2013年1月～2014年12月刊行の著書)
2. 優秀論文賞候補(同上期間刊行の論文)
3. 普及奨励賞候補
(同上期間刊行の翻訳書・研究調査報告書・一般啓蒙書)

- ✓ 推薦は自薦、他薦を問いません。また推薦は何点でも結構です。
- ✓ 推薦の締め切りは2015年11月30日です。
- ✓ 推薦内容は電子メールにて下記へお送り下さい。電子メールには推薦者(送信者)のお名前を明記の上、推薦の内容を本文に記して下記アドレスへ送信ください。件名を「学会賞推薦」としてください。積極的なご推薦をお願いいたします。
- ✓ 送り先: 日本人口学会事務局 E-mail: paoj@asas-mail.jp

各賞の概要、選考手順および各賞選考対象著作物の刊行時期等は、次の通りとなっています。

■概要

1. 第15回学会賞の選考対象は、2013年1月1日～2014年12月31日の2年間(刊行物の奥付による)とする。
2. 学会賞: 共著を含む著書を対象とし、人口研究に対する貢献を表彰する。
3. 優秀論文賞: 論文を対象とする。若手の育成・奨励のため、若手優先として、当該論文だけでなく、過去の業績を参考、または将来の期待度を加味して選考を行う。また、優秀論文賞は1編に限らず、ある基準以上の優秀な論文であれば、積極的に複数受賞しても良い。
4. 普及奨励賞: 翻訳書・研究調査報告書・一般啓蒙書等を対象とする。
5. 学会特別賞: 選考対象期間に刊行された著書を含み、これまでの過去の研究業績により、日本の人口学の発展に顕著な貢献を行ったと認められる会員を対象とする。

■第15回学会賞の選考方法について

1. 推薦方法について:
 - 電子メールにより募集する。
 - 推薦と評価とは別のものであり、推薦はあくまで選考対象を把握するソースとして利用する。
2. 情報収集の範囲:
 - (1) 『人口学研究』掲載論文
 - (2) 会員の申告による業績(『人口学研究』掲載)
 - (3) 会員からの推薦
 - (4) 学会賞選考委員の推薦
3. 選考対象となるもの
 - 単著ならびに共著の学術図書ならびに論文を対象とする。
 - 編著は、執筆者の過半数が会員である著作物を対象とする。
 - 人口学研究に資する公表・公開されたデータベースも対象とする。
 - 学術的に認知されたウェブ上に公開されるウェブジャーナルも対象とする。
 - 論文は研究論文のみを対象とし、研究ノートは含まない。
4. 選考基準
論文は査読付きを優先とする。

◆総務事務局の活動報告

総務担当理事 石井 太

9月27日(土)に平成27年度第1回理事会が開催された。

1. 理事会報告・審議事項

(1) 会員数について(総務委員会)

石井総務委員長より、会員数について以下の報告がなされた。通常会員301名、学生会員30名、名誉会員10名、団体会員1団体、賛助会員5団体、特別会員4団体(2015年8月末現在)。

(2) 次回理事会選挙について(総務委員会)

選挙管理委員会の発足、今後のスケジュール、及び選挙管理委員(金子隆一会員、増田幹人会員、余田翔平会員)の人選について石井総務委員長より提案があり、承認された。

(3) 編集体制の見直しについて(編集委員会)

井上編集委員長より第51号の編集状況について説明があった後、早速、第52号に向けた投稿の呼びかけを行う旨、報告があった。また、第51号でコスト面から変更を行った編集体制について、主に印刷事業者との関係から次号より再度見直す旨提案があった。それに対し、総務委員会より印刷事業者との契約内容について照会した上で、編集委員会内にて引き続き検討を行う旨、了承された。

(4) 地域部会の予算執行について(地域部会)

地域部会担当の吉田理事より、地域部会の開催に当たり、地域部会の費用を予算化した上で、予算額の事前渡を可能にしてほしい旨、提案があった。それに対し、使用方法等を明文化した上で可能とする旨、了承された。

(5) 第68回大会について(大会企画委員会・大会運営委員会)

和田大会企画委員長、黒須大会運営委員長より大会企画の進捗状況について説明があった。

(6) その他

会報の刊行スケジュールについて照会があり、速やかに刊行する旨、決定された。

2. 理事の選挙について

今年度末にかけ、次期学会理事選出のための選挙が実施されます。大まかなスケジュールは下記の通りです。積極的な投票をよろしくお願いいたします。

2月上旬: 選挙関連文書・投票用紙を送付

2月下旬: 投票締切り(開票の1週間程度前)

3月上旬: 開票

◆事務局 Information

学会事務局がエイジング総合研究センターから一般社団法人学会支援機構へと変更になりました。

新事務局連絡先:

*学会事務局連絡先(2015年7月1日から)

日本人口学会事務局

〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13 小石川アーバン

4F一般社団法人学会支援機構内

TEL: 03-5981-6011

FAX: 03-5981-6012

E-mail: paoj@asas-mail.jp

日本人口学会 会報 第70号 2015年11月発行
編集発行責任: 日本人口学会2014~2015年度総務事務局

〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13 小石川アーバン4F
一般社団法人学会支援機構内

TEL: 03-5981-6011 FAX: 03-5981-6012

E-mail: paoj@asas-mail.jp

<http://www.soc.nii.ac.jp/paj/index.html>